

モウ機會ハアリマセシ、ガカ絶對ニナイコトデハナク只一ツ文書ヲ以テ質問スル權利ガアリマス。コレガ通レハ合シク又書ノ回答ガアリ。官報ニモ載リマスガ余リ期待ハ出来マセン

貴族院ノ方モ大臣ニ話シテ緊急質問ヲ致シタイカ之レモ難カシイ事ト思ヒマス。兎角本問題ノ解決方法ハ第三者テ最モ有力ヲ信用ノアル人ニ依頼スルコトガ効果的ト考ヘマス。皆様モ此際一切ノ下級船員迄日本主義精神ノ下ニ抱擁シ海國日本ヲシテ世界ニ雄飛セシムル責任ガアルノデアリマス。私モ出来、丈犬馬ノ勞ヲ惜ムモノデアリマセン。ト述ベ懇談會ヲ終リ午後二時二十分辭去セリ。

3. 江藤代議士、懇談會終了後幹部ノ片山小十郎ハ三月十七日、授父宮殿下、御出港前ニ會社ガ陳謝的ノ聲明書ヲ天下ニ發表スルニ當リ、其ノ内容ニ不敬問題ヲ惹起セシメ

タル當面ノ責任者、浦田課長ノ進退問題モ折込マレルコトハ必然的デアラネバナラス。サスレバ引責辭職カ或ハ左遷ハ免レナイ。從ツテ海務部内ノ現状維持派モ自然的ニ連袂離散ノ運命ニ陥ルコトハ明ナレハ殊更ニ排斥問題ヲ條件トシテ表面化セストモ、目的達成シ解決スルニアラズヤ云々ト語レリ。

4. 松田通場主、松田秀五郎ハ「大森元春ト約束シタル趣意ハ國体明堂ノミデアフタ。其ノ後ノ行動ヲ見ルニ自分ニ何等ノ相該エナク國体明堂ニ絡ンデ社内革正ヲ主張シ、更ニ右翼団体ノ應援ヲ受クルノ状態ニ立至ラシメ徒ラニ事態ヲ紛糾セシメテ居ル。トテ幹部ノ小泉、小松ノ兩名ニ對シ、別記ニ首ヲ申渡シ、暗ニ立退方ヲ反カニ居ル状況ニシテ、幹部ノ動向注視中。